

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号

〒320-8686

下野新聞社

電話 028-625-1111

郵便振替口座 00180-1-623433

©下野新聞社2012

読者室 028-625-1179

(受付 月～金・午前10時～午後6時)

編集局 028-625-1121

販売 028-625-1120(販売)

事業局 028-625-1134(事業・教育)

営業局 028-625-1133(広告)

下野新聞社ホームページ

http://www.shimotsuke.co.jp/

号外

下野新聞1週間無料お試しキャンペーン実施中！
 試読・購読のお申し込みは
 0120-810081



萩野(作新)輝く「銅」

競泳 男子400メートル個人メドレー決勝 3位になり、ガッツポーズして喜ぶ萩野公介



男子400メートル個人メドレー決勝

3位になり、ガッツポーズして喜ぶ萩野公介

萩野公介(はぎの・こうすけ) 小山市羽川西小 作新中 作新高3年。御幸ヶ原SS所属。2011年の世界ジュニア選手権200メートル個人メドレーで優勝、ワールドカップ東京大会同種目では短水路日本新記録。今年4月の日本選手権では200メートル、400メートル個人メドレーで2冠を達成。17歳5ヶ月、70センチ。17歳。

「ロンドンで本紙・藤井達哉記者」栃木の萩野公介から、世界が注目する驚愕のスイマー「コウスケ・ハギノ」になった。

17歳の高校3年生が優勝したロクテ(米国)と表彰台で抱き合い、笑顔で大歓声に手を振って応える。胸には銅メダルが輝く。男子個人メドレーで日本初の五輪メダル。北京五輪8冠の「水の怪物」フェルプス(同)に競り勝った。しかも初めての決勝の大舞台で、予選で出した日本記録をさらに1秒07も更新。信じられない強さだった。

「思ったほど緊張しなかった。フェルプス、ロクテへの歓声がすごくて『これ

がオリンピックなんだな』と思って、楽しかったです。感動の涙はない。さわやかにさらりと答えるのが萩野らしい。

予選をトップ通過し、決勝は4コース。持ち味の背泳ぎ、自由形を最大限に生かしたレースを展開した。バタフライは予選より0秒84速かったが6位。ロクテが実力通り飛び出す展開に焦りはなかった。得意の背泳ぎで一気に2位に順位を上げた。

300メートルをターンした時、4レーン離れたフェルプスに勝っていることに気づく。「根性勝負。気持ちだけは折れないように最後まで泳いだ」。自由形で振り絞るパワーを逃げに終わ

らせず、前に行くペレイラ(ブラジル)に向けた。懸命に腕をかけたが、わずかに0秒08差。「あとちょっとで2番だったから悔しい」

4分8秒台をメダルラインに据えてレースを組み立てた読み、雰囲気は飲み込まれない精神力の強さは見事だった。小学生時代から神童的な存在だったとはいえ、これほどまでの成長を誰が信じ得たのだろうか。

「チームの応援も、日本にいる方の応援も力になった。親に迷惑も掛けず、学校のみんながいなかったら絶対にここまで来られなかった」。レース後は、謙虚で礼儀正しいいつもの萩野がいた。

まだ17歳。世界の競泳界に今後無数に残すであろう、足跡の第一歩は、夏のロンドンで人々の鮮烈な記憶となって刻まれた。



【ロンドン共同】ロンドン五輪第2日の28日、競泳の男子400メートル個人メドレー決勝で、本県の萩野公介(17) 御幸ヶ原SS、作新高3年が4分8秒94の日本新記録で3位となり、競泳男子では1956年メルボルン五輪自由形で銀メダルを獲得した山中毅以来、56年ぶりの高校生メダリスト誕生となった。



銅メダルを獲得した萩野公介